

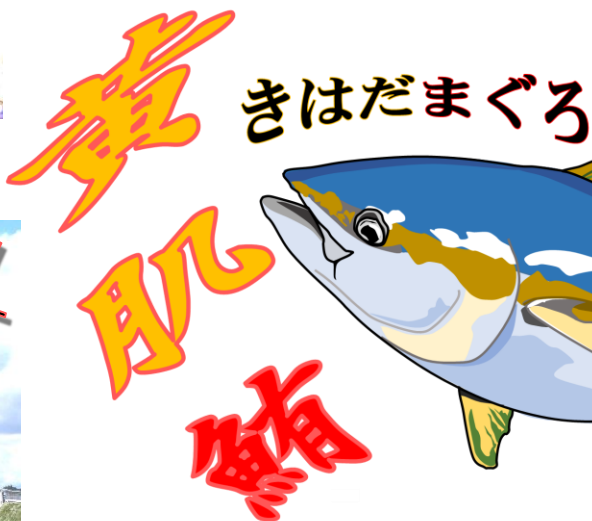


海洋システム科通信 6月号

町を元気にする 強力なコラボ! (新商品のお披露目会)



陸前高田市を元気にするために、こだわりのしょう油や味噌を造っている八木澤商店さんとコラボした！新商品「サバの白味噌缶詰」を開発し、道の駅 高田松原で披露した！



今旬
岩手魚

おらほの基地! (新艇庫への荷物搬入)



新艇庫が完成し、実習などに使う道具を運び込んだ！ここを拠点に、養殖や操船、ダイビングなどの実習を行っていくぞ！これから始まる実習や教室での授業が楽しみだ！

あれ？でっかくなってる!?

(カキ養殖実習 付着物掃除)



昨年から養殖していたカキが、殻にくっついたフジツボや海藻に負けず、大きく成長していた！付着物を落として、「もっと大きくなれよ」と海へ戻したぞ！

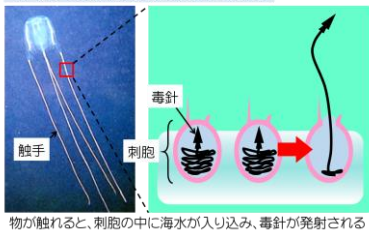
先生の独り言 vol.3

毒針を放つ地雷

海水浴をした後に手足や体が赤く腫れてヒリヒリと痛んだ経験はないだろうか？経験があるならば、あなたも海の「地雷」の被害者だ。

地雷を仕掛けた犯人はクラゲである。クラゲは刺胞動物と呼ばれる動物の仲間、触手には刺胞と呼ばれる袋が数十億個もならぶ。刺胞の中には毒針が仕込まれており、ものが触れた瞬間に自動で発射される。クラゲの触手は簡単に千切れるため、クラゲの体を離れた触手は無差別に人を刺す「地雷」と化すのである。

クラゲの刺胞が飛び指す仕組み



岩手県で見られる代表的なクラゲは、ミズクラゲ、アンドンクラゲ、アカクラゲ、カギノテクラゲなどである。この内、刺された時に痛みがひどい、あるいは命にかかわる可能性があるのはカギノテクラゲだけである。しかし、カギノテクラゲは、岩場で海藻の多い場所を好んで生息するため、そのような場所に近づかなければ刺される心配はない。ただし、いずれのクラゲ毒も、無毒化について科学的な裏付けのある物質や方法が発見されていないため、患部が大きく腫れたり、ひどく痛む場合は迷わず病院へ行くことをお勧めする。

岩手県内で見られる代表的なクラゲ



ミズクラゲ アンドンクラゲ カギノテクラゲ アカクラゲ